

令和7年度 第4回 水窪小・中学校運営合同協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和8年2月18日（水）13時30分から15時45分まで  
ただし、14時30分までは授業参観
- 2 開催場所 水窪小学校 会議室
- 3 出席委員 柳田 温、塩崎 正敏、山本 功、田中 裕彦、金田 和代、高木 園乃  
西岡 小百合、牧内 真美、石本 駿輔、高木 幸代、平澤 文江
- 4 欠席委員 守屋 貞慶、丹羽 貴美
- 5 学 校 鈴木 滋雄（水窪小校長）、米山 哲哉（水窪中校長）、鈴木 成幸（水窪小教頭）  
梅田 研（水窪中教頭）、内山 由紀（CSディレクター）

6 傍聴者 なし

7 会議録作成者 CSディレクター 内山 由紀

8 議長の選出

司会から、柳田委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

9 協議事項

- （1）小中学校評価について
- （2）R8年度の学校経営について
- （3）学校運営協議会自己評価について

10 会議記録

司会の平澤委員から、委員総数13人のうち11人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）前回会議録の確認について

水窪小教頭より、別紙資料の前回会議録の内容について説明があり、確認した。

（2）授業参観の感想

- ・全部の発表を見られれば良いかなと思った。2年生の発表はしっかりできていた。1年生の発表も上手にできていて、1年間きちんと生活をしてきたことがよくわかり、感動した。（田中委員）
- ・人数が少ない分、出番が多く、人前でしゃべることが当然のようにできる。私生活でも前に出て恥ずかしがらずにやっている姿が見られ、すごくいい力だと思う。（牧内委員）
- ・子供が成長したなと発表を見てわかった。はっきり自分の意見を言っていたのではないか。1・2年の発表を見たが、自分の言葉でしっかり発表できていた。発想といい、自分の気持ちを素直に出していた。（園乃委員）
- ・学年を越えて合同でやっている。上の学年から学び、下の学年にアドバイスしながら進めていけるのが良い。少人数なのであまり大きな声で言わなくても伝わるが、もう少し大きな声で言えるとさらに良いと思った。（柳田委員）

（3）小中学校評価について

水窪小教頭、水窪中教頭より、学校評価アンケートについて、別紙資料に基づき、良かった点や改善点、いじめ防止基本方針の取組について説明があった。

<小学校の学校評価アンケート結果について>

- ・一人一人違うので、先生方も一人一人に対して毎月アンケートを取り、その子に合った対応をしていることがわかる。毎年いい方向になるよう考えてくれていることがよくわかり、感謝している。(西岡委員)
  - ・ネガティブな結果になっているところは、大人でもできていないし、それほど重要な項目ではないのではと思う。ありがとう・ごめんなさいと言える、友達と協力できる、楽しさを感じているといった、これから人として必要なところがいい評価になっているところに安心した。(牧内委員)
  - ・水窪の色が出ていていると感じている。青枠の部分は、水窪の人について感じているところでもある。自分から進んで、自分を出すという部分は、足りないところがあるのかなとアンケートを通して思った。(塩崎委員)
  - ・設問を一つ一つ見ていくと表裏一体で、こちらが得意な子はこちらが苦手というものもある。いろいろな個性の子たちがいて、先生方が苦労されていると思う。4番の項目、8番の項目は、青枠になっているが子ども教室ではできているシーンがある。子ども教室は遊ぶところで楽しいことを提供すればよいが、学校は楽しくないことでも必要だから頑張らなきゃいけない。そういう点で評価が違うのかなと思う。保護者に対して言いたいのは、学校ではできていなくても別の場面ではできていたりするから、悲観することでもないのではないかな。(平澤委員)
  - ・保護者の評価が悪くなっている。こうなってほしいという思いがあるからではないかな。(園乃委員)
  - ・水窪・佐久間地区は、塾がなく、競争心が生まれにくい。塾がないため先生方の負担も大きく考えなければいけないこともあると思う。アンケートでそう思わないと書くということは、児童・保護者が、学校を頼っているのもある。こうしてもらいたいという気持ちで書かれているのではないかな。19番の項目については、学校に言うよりも親たちが解決するところがあるのではないかな。先生に相談するより親が話して親が解決してくれる感覚が出ているのではないかな。(山本委員)
  - ・家庭で相談しながら親子で解決していける部分は良いが、それ以上のことがあり、難しいなと思うことをどれだけ学校にぶつけるか、学校に相談するのは大事かなと思う。(柳田委員)
  - ・表裏一体の部分がある。先生がこれをやりましょう→児童がやりましたというところがあり、それが、8、9番の項目の結果に出ているのかなと思う。また、19番の項目については、自分たちが小中学生の頃も、恥ずかしくて相談しづらい部分があった。他の小中と比べて、この地域は親も顔見知りで、親同士で話すことも多い。親に出来事を話すことが多く、親も親同士で直接話す方が早かったりする部分があるのかなと思う。(石本委員)
  - ・9番の項目の「きたえることができる」は、体力面だけでなく学習面も含めて大きくとらえて、きたえるのか。(柳田委員)
- はい。(水窪小教頭)
- 項目の中に、きたえる部分がたくさんあり、親がどのようにこの辺をとらえているか。(柳田委員)
- <中学校の学校評価アンケートについて>
- ・中学になると学習面が際立ってくる。先生方の評価が学びの部分でまだまだだと感じていると受け取れる。地域から見ると、小規模校ならではの少人数で、学力を上げ、楽しく学べることを期待する。(幸代委員)
  - ・中学校のアンケート結果では、青い部分が多い。勉強がメインになるが部活もある。情緒不安定な時期だと思う。気持ちが前向きになる生活を送ってほしい。(金田委員)

(4) R8年度の学校経営について

令和8年度の学校経営について、水窪小校長、水窪中校長より説明があった。

(5) 学校運営協議会自己評価について

水窪小教頭より、別紙資料に基づき、学校運営協議会自己評価アンケートについて説明があった。

報告・連絡事項

- ・水窪小教頭から、R7年度事業報告、R8年度年間行事計画案について説明があった。
- ・水窪小教頭から、卒業式、入学式について話があった。